

マタニティウェア・ベビー服・子供服の 再 利 用



東南環境事業センター玄関前



1階 展示会場

市民の皆様から持ち込んでいただいた再利用可能なマタニティウェア、ベビー服、子ども服は、毎月第3土曜日に環境事業センター等で展示し、市民の皆様に無料で提供しています。

大阪市では、東南環境事業センターをはじめ、市内10ヶ所で同様の取組みが行われ、平成19年10月末で8,451名の来場があり、14,900点のマタニティウェア等を提供しました。このように、地域の皆様とともに再利用(リユース)・再生使用(リサイクル)活動を通じて、ごみの減量を目指します。

平野区内での啓発活動 いちいろ



古代市のアカンずきんちゃん



小学4年生の体験学習



路上喫煙防止啓発活動



リサイクル教室



ひらの区民まつり



エコクッキング

第5回住吉川エコフェスタ

平成19年11月3日(土)、第5回住吉川エコフェスタが開催されました。

このフェスタは、連合会長の芳本氏も話されていましたが、地元と行政が初めてタイアップし、ごみ減量やリサイクル・環境について考えるイベントとしてスタートしました。しかも住民の手作りのイベントです。元来、住吉川連合はコミュニティ活動が活発であり、生涯学習活動に参加する方も多く、このイベントは、エコロジーへの関心を高めると同時に、住民の自主的な文化活動の成果の発表の場でもあります。その結果、今回も3,000人もの住民の方が参加しています。



エコフェスタ会場内では、環境局西南環境事業センター職員がごみ減量推進員の皆様と協働でごみ分別指導を会場内3箇所で行いました。分別の大切さや分別の正しい方法等を知ることができたと大好評でした。

ステージでは、ごみの分別や減量の啓発劇を実演し、また路上喫煙対策キャラクターの「アカンずきんちゃん」が、会場内を巡回し路

上喫煙防止を訴えました。環境局のコーナーでは、ごみの減量・リサイクル推進啓発活動として、ごみ分別のクイズの実施や、リサイクル工作教室を行いました。

市民と行政との協働による市民への啓発のためのイベントは、毎回大きな成果をあげています。参加者は楽しみながらごみの分別の実践を体験することで、環境問題への関心も高まったと好評でした。

芳本氏からは、「今回のイベントを契機に、地域においてごみ減量・リサイクルがより推進し、その流れが全区に波及することを願います。」とのコメントをいただいております。



■編集・発行／大阪市環境局事業部

大阪市阿倍野区阿倍野筋1-5-1 あべのルシアス13階

TEL.06-6630-3231 FAX.06-6630-3581 <http://www.city.osaka.jp/kankyojigyo/>

■発行年月／平成20年1月



おたがいの 人権守って 明るい社会

